

事務事業評価(事前評価)シート【令和5年度】

主管課(担当名)	社会教育課(文化財担当)	事業区分	■実施計画 □重点プロジェクト
事務事業名	文化財保存活用推進事業	事業番号	12995

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-09	歴史・芸術文化の振興
	施策目標	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

2 事務事業の目的

目的	当市には国指定史跡西月ヶ岡遺跡をはじめ、国指定18、道指定4、市指定10の計32の文化財があります。これらの文化財を未来の子どもたちに確実に受け継いでいくことが求められていることから、文化財の保存と活用等を図るための普及啓発に努める。
成果	西月ヶ岡遺跡、ヲンネモト・ノツカマフチャシ跡の環境整備や史跡標柱等の維持補修を行うとともに、日本遺産登録による管内1市3町で連携し史跡の保存と有効活用を図り、交流人口の拡大につながるよう、日本遺産の構成文化財などを中心に史跡巡りのルート化を図る。
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他
事務区分	■自治事務 □法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	R2						
	R3						
	R4						
	R5	<ul style="list-style-type: none"> 市指定天然記念物「菌舞湿原」の保存活用についての協議 西月ヶ岡遺跡追加指定に向けた測量調査の実施 史跡標柱等の維持補修。及び、西月ヶ岡遺跡、ヲンネモト・ノツカマフチャシ跡の環境整備 					
	R6	<ul style="list-style-type: none"> 西月ヶ岡遺跡追加指定に向けた測量調査の実施 史跡標柱等の維持補修。及び、西月ヶ岡遺跡、ヲンネモト・ノツカマフチャシ跡の環境整備 					
事業費と内訳	(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	総事業費
	事業費				10,748	83,013	93,761
	内						
	国庫支出金				3,757	14,576	18,333
	道支出金					22,075	22,075
	地方債						
	ふるさと関連基金						
	その他						
	一般財源				6,991	46,362	53,353
人員(人工)				1.5	1.5	3.00	
職員費(人員×7,455千円)				11,183	11,183	22,366	
総事業費				21,931	94,196	116,127	
維持管理	管理主体						
	運営方法						
	維持管理費						
	概算人件費						
合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R4)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	根室市歴史と自然の資料館 来館者数	3,203人	-	3,670人
	根室半島チャン跡群 来訪者数	4,949人	-	5,000人
			-	
			-	

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	文化財の保護・保存が図られるとともに、史跡をめぐるルートにより文化財の有効活用により交流人口が拡大する。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 文化財の保存については、市議会からの質問もあり、市民の関心もある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 国・道指定の文化財は、連携して保存を図っており、市が管理者となっている文化財については市が保存管理をすることとなっている。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 建物の老朽化が進んでいることや、天然記念物指定の動植物の一部が心無いマニアなどにより採取される事例などがあることから、継続的に保存・保護する必要がある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 文化財等の点検や関係機関と連携したパトロールなどを行い、保護・保存に努めている。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 指定された文化財の保護・保存に努めていることから、公平性は保たれている。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 文化財を後世に伝えるための保護・保存事業と活用についても取り組んでいる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 文化財等の点検や関係機関と連携したパトロールなどを行い、継続的に保存・保護と活用について努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 計画どおり事業推進を図るとともに、国・道等の各種補助事業を活用のうえ、保存・保護と活用について努める。

作成年月 令和5年7月